

附属札幌中学校「学校だより」

# 藤 房

北海道教育大学  
附属札幌中学校

令和5年6月30日発行

No.4

## 校外学習をどう生かすか

第1学年主任 山田 浩之

5月31日(水)に第1学年では、校外学習を無事に行うことができました。第2学年、第3学年の皆さんが、校外学習当日の1学年教室の清掃をしてくれるなど、有形無形様々な形で協力してくれたことを第1学年生徒は忘れてはいけません。このような思いやりに溢れた行動は、附中生に脈々と受け継がれてきた伝統なのかもしれません。

校外学習当日は天候に恵まれ、過ごしやすい気温で、屋外でのフィールドワークや炊事を行うことができました。第78期生全員が、自分の役割の中で、精一杯取り組む姿が見られました。特に、人手が不足している場所に係を超えて多くの人が自主的に清掃する姿は素敵でした。

しかし、第1学年の解団式の中では、成果以上に課題の言葉も数多く上がっていました。特に多く上がった課題は「しおりを読み、次の活動に向けて行動できていなかった」、「わかっているつもりで判断したが誤った行動であった」などでした。

私が皆さんと同じ中学生の時期、所属していた部活動の顧問の先生から言われた言葉として、「練習以上にいい結果は残せない」、「練習したことが結果として表れるが試合だ」ということが今でも記憶に残っています。旅行的行事も同様ではないでしょうか。つまり、日常生活の中で次の活動に向けた意識が不足していたこと、更に、物事を細部まで理解しないで判断しがちであることが旅行的行事でも表れたと解釈することができます。

今回の校外学習は、生徒一人一人が頑張る気持ちになれたこと、他学年からも応援してもらえたことで十分成果があったといえると思います。しかし、何よりの成果は学級や学年の成果や課題を整理し、一人一人がそれらを受け止められたことに他ならないと思っています。第78期生全員が、今後、課題に向けた活動に自ら参画し



ていくことによって新たな課題が見え、その課題を仲間と修正し合う活動を通して更なる成長の機会とすることができるのではないのでしょうか。

---

## 宿泊学習を終えて

第2学年主任 岩本 和馬

1年前の校外学習。活動途中で横殴りの雨に打たれ、ずぶ濡れになりながら買い物から帰ってくる姿が今でも鮮明に思い出されます。昨年度の不運な事態からか、宿泊学習の出発前日まで天気について気がかりでした。しかし、宿泊学習当日、小樽市内に降り立つと、そんな不安を払拭する青空が空一面に広がっていました。昨年度とは打って変わって天候に恵まれ、伸び伸びと活動できた宿泊学習となりました。

4月18日に宿泊学習について説明をしてから約1ヶ月間、係活動を中心としながら、自主研修やテーマ別調べ学習に向けた準備を班ごとに進めました。その際、係長や班長が中心となって見通しをもちながら係活動を進める姿が立派でした。仕事に責任をもって話合いに積極的に参加し、しおり原稿の作成や係として決定したことを班や学級全体に説明するなど、一人一人の活躍の場が見られ、宿泊学習のスローガンである『ダイヤモンド』を具現化しようとする姿勢を強く感じました。

出発前に何度か話をした中に、「自分たちで創る宿泊学習にしてほしい」とのメッセージを伝えてきました。その言葉を体現するかのように、当日の頑張りや協力する姿は、素晴らしいものでした。特に、自主研修において、インタビュー先のお店の混雑状況等によって、計画通りの時程で進められない場面が生じて、班員の中で時程やルートの再検討を行い、決められた時間の中でできる限りインタビューしようと取り組んでいました。また、一日目に点呼の仕方や食事の準備等の課題に挙げられていましたが、二日目の活動では、それらを意識して個々が行動したり、周りに呼びかけ合ったりする姿が見られました。他方で、「事前の計画や準備がもう少し練っていればよかった」と後悔する姿もありました。また、「もっと意見を出しておけばよかった」と自らの思いを主張できなかったことを反省する姿も見られました。来年には修学旅行があります。修学旅行に向けた取り組みが本格化したときに、今回の課題を改善しようと努力しているのに、上手いいかないこともあると思います。来年になってから急に頑張るのではなく、これからの普段の学校生活において、一歩ずつそれぞれが力を高めていく必要があるのではないのでしょうか。今を大切に、自分たちが望む学年集団を、自らが役割と責任を果たすことで、その実現に近づくとします。個人の成長は集団の成長であり、集団の成長は個人の成長です。互いを認め合い、支え合い、刺激し合いながら、共に成長し続けていくことを願っています。



## ■ 生徒総会

6月2日には、令和元年度以来、実に4年ぶりに体育館に一堂に会して生徒総会が開催されました。役員会・議長会・委員会・専門局会の代表生徒は、久しぶりに対面で開催される生徒総会の成功を目指し、この日に向けて事前に打ち合わせを進め、当日も滞りなく進行することができました。本校は全校生徒が委員会・局会に所属し、生徒全員が主体的に、よりよい学校づくりを目指して参画するという特徴があります。今回の総会で、体育館の中で直接交わされた意見をもとに、よりよい活動を目指すとともに、生徒会活動のあり方を先輩から後輩へと受け継ぐ機会にすることを願っています。



## ■ 前期中間テスト終了

6月12日(3年数学のみ14日実施)には、今年度最初の定期テストとなる前期中間テストが行われました。特に1年生の皆さんにとっては、小学校のテストとは範囲なども異なり、緊張が大きかったのではないのでしょうか。さて、本校のテストは、各教科における知識・技能や思考力・判断力・表現力などについて、個人の学習の到達度を図るために実施しています。生徒にとっては、自らの成果と課題を把握し、今後の取組に生かすことが目的となります。単純に結果をとらえて「勉強が足りなかった」「ケアレスミスが多かった」という漠然とした振り返りで終わらず、「知識・技能では〇〇の問題ができていなかったから授業では□□を頑張ろう」などと、今後の取組につながる具体的な振り返りを行うことが大切になります。御家庭におかれましても、このような視点でお子様とテストを一緒に振り返っていただければ幸いです。

## ■ D組との給食交流

6月14日から、ふじのめ学級の生徒との給食の交流がスタートしました。本校ではこれまでも一部の授業や、不定期にレクなどを通して交流をする場面がありましたが、今後は月に数回程度、給食交流を実施する予定です。「インクルーシブ教育」(共生・学び合い・支え合いを意識し、人間の多様性を認め合う社会や個人の基礎を整える教育)という用語がありますが、このような何気ない交流場面が、今後の互いの理解の促進につながってほしいと願っています。



## ■ 「北海道地区 PTA 連合会総会・実践活動協議会」

6月6日、北海道地区 PTA 連合会総会・実践活動協議会(道附P連)がオンラインで行われました。道附P連は、札幌・函館・旭川・釧路の幼・小・中計12団体が、互いのPTA活動について交流する場です。今年度の協議会のテーマは「コロナ禍における各学校園での PTA 活動の模索と挑戦について」です。本校からご参加いただいたPTA役員の皆さんが、札幌地区の名所を紹介しつつ、昨年度の本校PTAの実践を報告しました。交流を通して知り得た他地区のPTA活動のよさを参考にしながら、よりよいPTA活動につなげたいと思います。

# 7月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
1(土)	中体連(ソフトテニス) 部活動可	
2(日)	中体連(バスケットボール、ソフトテニス) 部活動可	
3(月)	合唱祭学活(指揮者・伴奏者・自由曲決め) 放) 選挙管理委員会	16:20
4(火)	生徒会役員選挙告示 立候補者受付開始	16:20
5(水)	【研究日】	16:20
6(木)	藤華祭 PJ ①	16:20
7(金)	附属小学校教育研究大会(通常日課)	16:20
8(土)	部活動可	
9(日)	中体連(バスケットボール) 部活動可	
10(月)		16:20
11(火)	【職員会議】 附属小6年授業見学(午前)	15:20
12(水)	【研究日】 生徒会役員選挙立候補メ切	16:20
13(木)	藤華祭 PJ ②	16:20
14(金)	3時間後給食 昼) 立候補者・責任者説明会 3年総合 FW①	16:20
15(土)	中体連(バスケットボール) 部活動可	
16(日)	中体連(バスケットボール) 部活動可	
17(月)	部活動可 海の日	
18(火)	昼) 選挙管理委員会	16:20
19(水)	3時間後給食	16:20
20(木)	藤華祭 PJ ③	16:20
21(金)		16:20
22(土)	部活動可	
23(日)	部活動可	
24(月)		16:20
25(火)	大掃除 5時間日課	15:20
26(水)	夏季教育研究大会(5時間日課)	15:20
27(木)	夏季休業前集会 前期期末テスト範囲表配付	14:20
28(金)	夏季休業日(~8/24) 部活動不可	